

NIMH、自閉症研究を目的とした死後のヒトの脳組織収集・保管・分配において
NBB と ABN の取組みを調整 (11 月 17 日)

国立衛生研究所 (National Institutes of Health : NIH) 傘下機関の国立精神衛生研究所 (National Institute of Mental Health : NIMH) は、自閉症研究目的で、死後のヒトの脳組織を収集・保管・分配するという、全米における共同での取組みの立ち上げに関し、ファウンデーション・アソシエーツ社 (Foundation Associates LLC) との間で協定を締結した。本協定の下で、NIMH は、NIH のニューロバイオバンク (NeuroBioBank : NBB) と自閉症ブレインネット (Autism BrainNet : ABN) という、ヒトの脳組織リポジトリに関する 2 つの独立したネットワークによる取組みを調整することになる。自閉症スペクトラム障害 (autism spectrum disorder : ASD) 患者及び健常者の両方から提供される組織の需要は、過去に例を見ないほど高くなっているが、今回の協定の主要な側面には、全米の組織収集・研究施設の職員が使用する、標準化された脳組織提供の Protokol 開発が含まれているという。具体的には、コンセンツの受諾手続、プライバシー保護の確保、ドナーから提供された組織の処理・維持管理、ドナーの臨床・医療・教育記録の収集などが含まれる。

National Institutes of Health, *NIH-supported NeuroBioBank joins Autism BrainNet in brain donation initiative*
<http://www.nih.gov/news-events/news-releases/nih-supported-neurobiobank-joins-autism-brainnet-brain-donation-initiative>